

## 神戸東ロータリークラブより新型コロナウイルス PCR 検査用 安全キャビネットを贈呈される

2020年12月22日（火）神戸市医師会館市民ホールにて、神戸東ロータリークラブより神戸市医師会に対し、PCR検査室設置に必要な安全キャビネット（クラスⅡタイプAガスバーナー付き）の贈呈がありました。

贈呈式は、神戸東ロータリークラブ 植村 浩史 社会奉仕委員長の司会により開始され、最初に神戸東ロータリークラブ会長の鮑 悦初 様及び神戸第1グループガバナー補佐の金田 庄一郎 様が、国際ロータリークラブの活動理念と活動内容、とりわけ今年度は新型コロナウイルス感染症の撲滅のため世界各地で社会奉仕活動に取り組んでおり、この度神戸東ロータリークラブの発案で、神戸市医師会が新型コロナウイルス PCR 検査室を設置するに際し、その一助となればと兵庫県全域の会員から寄付を募り、安全キャビネットを寄贈する運びになった経緯を紹介されました。

続いて、国際ロータリー第2680地区ガバナーの高瀬 英夫 様より、「安全キャビネット クラスⅡタイプAガスバーナー付き」の目録及び「贈呈記念ステッカー」の贈呈があり、当会の置塩会長は、贈呈への感謝と、「引き続き検査体制の強化も含め新型コロナウイルス感染症撲滅のため頑張っていく」との決意表明を行いました。



（高瀬様から贈呈を受ける置塩会長）



（贈呈された安全キャビネット）